

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し社会に貢献すること

2 中長期の経営戦略

1. 組換えヒトHGFに経営資源集中

組換えヒトHGFタンパク質プロジェクトに経営資源を集中し、創薬イノベーションを起こす

2. 自社開発による医薬品化推進

希少疾患を対象に、臨床試験の成果を自社開発により医薬品として社会実装する

3 対処すべき課題

① 進行パイプラインの開発促進

- ・ 脊髄損傷急性期：追加臨床試験実施後、製造販売承認申請を目指す
- ・ 声帯癬痕：第III相試験実施中。8施設で症例登録推進。AMED公的資金活用
- ・ ALS：第II相試験終了後、東北大学と2024年4月にバイオマーカー解析の共同研究契約締結

② 新たなパイプライン開発

- ・ 米国での急性腎障害開発は資金的観点から一旦中止、資金余裕時に再開予定
- ・ HGFの多様な生物活性を活かした医薬品パイプラインを新規立ち上げ必要
- ・ 難治性疾患のQOL向上のためのバイオ医薬品開発推進

③ 原薬量産と財務体質強化

- ・ クラリス・バイオセラピューティクス社と2023年9月に業務提携し製造法効率化着手
- ・ 全世界での安定供給体制を構築、グローバル対応必要量増大に対応
- ・ 増資や事業提携による収益計上で財務体質強化継続

面接で使えるポイント

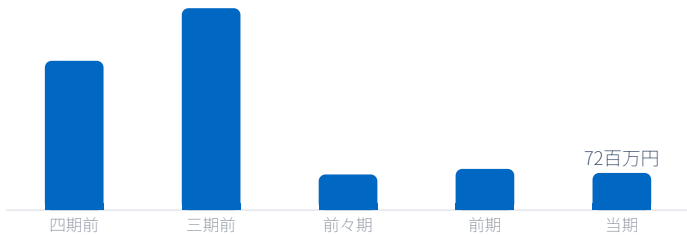
- ・ 組換えヒトHGFタンパク質の研究開発で脊髄損傷・声帯癬痕・ALSなど難治性疾患の治療を実現
- ・ AMED公的資金採択など、政府の創薬ベンチャー支援制度を活用した開発推進
- ・ クラリス・バイオセラピューティクス社との業務提携で2023年9月から製造法効率化に着手

クリングルファーマ株式会社

医薬品 | グロース（内国株式） | 決算期 9月末日

証券コード 4884

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）

営業利益率
－（未開示）

財務健康度
43点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 40.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
645万円

医薬品内 66位/80社

平均年齢
49.9歳

医薬品内 8位/80社

平均勤続
2.1年

医薬品内 75位/80社

女性管理職
25.0%

医薬品内 6位/41社

男性育休
0.0%

医薬品内 34位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: クリングルファーマ(株)【4884】：決算情報

クリングルファーマ株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

